(2)　校務分掌組織，運営に関する職員の意識

校務分掌組織及び運営上の問題点を明確にして，指導助言の方向を探るため，次のような調査を行った。

- 校務内容や処理の手順の理解について
- 校務分掌に対する考え方について
- 校務処理上の問題点について

①　調査結果

（A：はい　B：どちらともいえない　C：いいえ）

調査番号	調査項目		選択肢	結果 人数	20 40 60 80 %
1	あなたは自分が担当している校務分掌の仕事の内容がわかりますか。		A	37	
			B	1	
			C	1	
2	あなたは自分が担当している校務分掌の仕事の進め方がわかりますか。		A	33	
			B	5	
			C	1	
3	あなたの校務分掌の係は忙しい係ですか。		A	8	
			B	22	
			C	9	
4	本校の校務分掌の仕事の分担は公平だと思いますか。		A	12	
			B	22	
			C	5	
5	あなたの担当している係の仕事は重要だと思いますか。		A	33	
			B	5	
			C	0	
6	校務分掌組織についてのあなたの考えは・・・・	教育活動を支える補助的な仕事の組織		10	
		授業に直接関係ない仕事の組織		0	
		教育目標達成のための補助的な仕事の組織		5	
		教育目標達成のための協力組織		19	
		校長から割当てられた仕事の組織		3	
7	校務分掌の仕事をどのようにして進めていますか。	昨年までの記録などを参考に。		17	
		昨年度の係に聞きながら		5	
		自分で新しく考え出して		3	
		本や文献から，新しい情報を得て		1	
		これまでの経験をもとにして		7	
		指導や助言を受けながら		6	
8	係内での仕事の処理はどのようにして・・・	主任がほとんど処理する。		11	
		係内で話し合い主任がまとめる。		15	
		主任がその都度割当てる。		4	
		係内で仕事の分担をはっきりきめている。		8	

調査番号	調査項目		選択肢	結果 人数	20 40 60 80 %
9	校務分掌の仕事を進めるときの困難点は・・・・	経費が足りない		2	
		時間が足りない		18	
		どこまでやったらよいのか，はっきりしない。		13	
		相談にのってくれる人がいない。		2	
		自分の責任でやれる範囲がはっきりしない。		3	
		その他		2	

②　考　察

ア，校務内容や処理の手順の理解について

調査１，２　の結果からは，あまり問題はないようであるが，調査９（校務処理上の困難点）との関連でみると，必ずしも，校務の内容，範囲について明確であると受け止めていない。すなわち，調査２　で，「仕事の進め方がわかる」と回答した職員33名中10名までが，調査９　では「何をどこまでやったらよいかはっきりしない」と答えているのである。

これは，校務分掌規定によって，一応校務内容が定められているものの，その表現が抽象的であったり，包括的であるため，具体的な校務内容が判然としないものが含まれていることが原因と考えられる。

又，校務の性格上，やれば際限がない仕事の量に，困惑している様子もうかがわれる。

いずれにしても，指導助言を行う際の，１つの視点になるものと考えられる。

イ，校務分掌に対する考え方について

調査３，４　の結果からは，次の２点が問題としてあげられる。

◦「忙しい」と回答しているものは，ほとんどが係主任であること。

◦校務の分担が不公平であると感じている職員がいること。

「主任まかせ」になっていることは，確かに大きな問題であるが，この解決には年度当初の係内における校務分担の適正化が必要であり，現時点では，指導助言だけで改善は困難と思われる。

校務分担の公平さについては，具体的にどこに不公平を感じているのかを明らかにして検討するとともに，校務の量は，分担